



学長 小池 明

必ず夜は明ける

本号が届く頃にはコロナ禍とウクライナ戦争の収束が見えている様に祈りますが、世界も我が国も平常に戻るには相当時間が掛かりそうです。とは言え展望のない社会には生きる価値薄尠、過去に人類が危機を都度解決してきたことを思って希望を持ちましょう。昨年の短大通信では「明けない夜はない」としましたが今も必ず克服できると信じたい。コロナ禍に限ってはウィズコロナの生活に日本も移行すべきでしょうし、国もそう向かっているのは歓迎です。

本学は1昨年4月に1ヶ月の休校をしましたが、授業は比較的早く対面形式に戻せました。教職員、学生、双方の大きな努力のお蔭で皆様には大いに感謝です。

コロナ禍に上手く対応した国で女性がリーダーシップを執っていたことに感銘を受けた人は少なくない筈で、女性の力を再認識できたことを奇貨とし、ガラスの天井を突き破って枢要な地位に女性が就くことが一層進むと期待したい。多様な組織や括りがある中、誰をリーダーに選ぶか、それは選ぶ側一人ひとりに責任がある。延いては自分が世界、現代を作っているのだと自覚する必要があるのです。

本学の半世紀の歴史は不断の大学改革の積み重ねです。今、改革の柱の一つとして「デザインの学び」があります。これは絵やデッサンが上手になると言う狭義に捉えてはなりません。本来、人は皆、自己表現欲を持っている—自分を含めて何かを表現したいものです。一方、優れた表現は、対象の事物の子細な観察、仕組み作り、資源配分、配置、タイミング、段取りの良さによって実行、実現する—それら一連の作業を統括的に行うことが求められるのです。そのことがまさにデザインングであり、構想力、設計力そのものです。この力は、勉学だけでなく、人生、生き方にも及ぶ。学生諸姉が本学でデザイン力を養い、人生が豊かになることを切に願っています。



柳のように

幼児教育学科 学科長
市東 賢二

数年来続くコロナ禍には、辟易しているとともに慣れも感じる昨今です。学生たちの姿を見るにつけ、日常生活のルーティンとしてのマスクの着用や手指消毒など、それなりの対処法をみつけていることもあれば、互いの距離の確保など御座りになってしまっているものもあります。何れにせよ新しい生活習慣とやがら、それまでの生活様式を変更したおかげで、彼らは様々な制約の中でも学生生活の自由を発揮しようとしているようです。気の緩みからくる等閑な自由は困ったものですが、互いを尊重し、想い合う仕方で自由を表現することや、様々な制約が足枷になることなく、軽やかに越えていくステップとなるような自在さを身に着けてほしいものです。



私を~した言葉

総合文化学科 学科長
大橋 敦夫

新学期、学生の皆さんに提出を求める作文の課題です。「~した」の部分はアレンジ自由で、現在進行形でもかまいません。

常に出題者側なので、立場を入れ替え、今の自分ならば、どんな言葉を取り上げるか考えてみました。

人間は一生のうちに逢うべき人には必ず逢える。
しかも一瞬早過ぎず、一瞬遅すぎない時に。

— 森信三 (哲学者)

学生の皆さんの3倍以上の時間を生きてきましたので、なるほどと思う事例もいくつかあります。
(興味のある方は、お声がけください。紙幅がつかまりました。)

幼児教育学科Topics

学科紹介

得意分野をさらに深められる「自然保育」「福祉社会」「表現文化」の各コースがあり、いずれも幼稚園教諭二種免許状・保育士資格の取得はもちろん、専門性の高い保育者を目指しています。

附属幼稚園でのプレ実習を始め、裏山での自然保育、あそびプロジェクト、ゼミ活動等を通じて日常的に子どもたちと触れ合いながら学んでいます。



幼児教育学科1年

しみず うた
清水 風さん(上田千曲高等学校出身)

将来は、長野県の豊かな自然を生かした「自然保育」を通じて、幼児一人ひとりに向き合い、より近くで子どもを理解できる保育者になりたいと考え、「自然保育コース」がある上田女子短期大学に入学しました。

地域連携センターを中心にボランティア活動が活発に行われているので、私も積極的に参加していくつもりです。また、週に1度、自分が子どもの頃に通っていた陸上教室のコーチとして小学生の練習に参加して子どもたちとの関わり方を学んでいます。まだまだ力不足で悩むことも多いのですが、今後もあきらめずに全力で取組むつもりです。

私は、関心をもった事に夢中になって真剣に取組む性格です。これからの2年間で自分の目標とする保育者になれるように全力で頑張ります。



幼児教育学科2年

よしざわ あみ
吉澤 愛未さん(新潟県 上越高等学校出身)

全てが初めての経験で戸惑うこともあった1年目を終えて、今年の目標は「子どもたちと楽しく歌えるピアノの伴奏」ができるようになることです。ピアノは放課後や空き時間に個人練習をしています。歌唱・ピアノ共に頑張り、現場に出たら「自信のある弾き歌い曲」で子どもたちと楽しく日々歌いたいです。

選択した「表現文化コース」では、造形表現・音楽表現などを学んでいます。子どもたちと楽しく自由に表現するにはどうするべきかを考え実践する実習が、とても楽しいですし自分の表現力も高まってきたという自信があります。

卒業後は先輩方も多くいる出身地の上越市内の保育所に就職し、子どもたちが自由に自分の想いや感情を表現させてあげられる保育を実践し、子どもの気持ちに寄り添える保育者を目指します。

地域子育て支援プロジェクト

地域は今、これまでにない程、人と人が関わり合うための場としての機能が失われてきています。本学では、今こそ必要となる社会福祉の知識・援助技術を学ぶだけではなく地域における子育て環境について講義から学び、学生同士で考え合い、自ら企画運営にも携わる機会があります。

地域の人と人が関わり合える場をつくることは、子どもが人と共に育ち合おうとする場をつくることにもつながります。

保育現場においても子育て支援は、その役割と重要性が大きくなってきています。本学「福祉社会コース」では、授業の中で、地域の子育てを支えるプロジェクトの企画・運営を行います。実際

に地域の親子と関わることで、地域の人と人がつながり、子どもが人と共に育ち合う場を創造していきます。



「長野県地域発 元気づくり支援金」

やまほいく
里山プロジェクト 地域振興局長賞 表彰!!

長野県地域発元気づくり支援金を活用した「信州上田“やまほいくの里山”プロジェクト：暮らしと自然の再展望～自然保育の可能性をかたちに～」が、長野県から優良事業として選定されました。

表彰式では次のような講評をいただきました。

1. 県の環境を生かした保育推進に貢献
2. 「自然保育研修会」や冊子『子どもと自然保育BOOK』では、子どもはもちろん現場の保育者を前面に出している
3. 本事業が推進する自然保育は、子ども一人ひとりの多様性と保育者一人ひとりの能力を活かせる
4. 自然保育を軸にしたコミュニティ作りに発展していくことができる

本学では、2016年から「信州上田“やまほいくの里山”プロジェクト」に取り組んでいます。この度、保育・幼児教育をテーマとした本事業が優良事例として選定されたことは、世間の関心が子どもや保育者に向けられている証ととらえ、今後も邁進してまいります。



▲自然保育研修会

総合文化学科Topics

学科紹介

さまざまな免許・資格・検定にチャレンジする学生が、活気に満ちたキャンパス・ライフを送っています。蔵書数8万6千冊を誇る附属図書館、自然光あふれる学生ホール等、各自がお気に入りの場所で目的達成に向けて励んでいます。



総合文化学科1年
瀬戸 果歩さん(富山県立大門高等学校出身)

私は、小学生の頃から「ブライダルコーディネーター」に憧れていました。ブライダルを学べる短大を探している中で、上田女子短期大学のオープンキャンパスに参加し、ブライダルの授業を体験しました。そこで、「私が学びたいのはこれだ!」という衝撃的な感動を受け、「この短大でブライダルを学ぶ!」と決意し、入学を決めました。

総合文化学科では、ブライダルはもちろん、デザインの学びやビジネスマナーなどの知識も、身に付けていきたいと考えています。また、ブライダル研究サークル「MIP」ではブライダルの学びを深め、ボランティア活動団体の「別所がある」では、地域の方々と交流を深めて、上田での思い出を増やしていきたいです。

私の強みは、一度決めたことは、最後まであきらめずやり遂げること。そして、何より人と関わることが大好きです。卒業後は、「ブライダルコーディネーター」として活躍できるように頑張ります。



総合文化学科2年
市川 愛梨さん(小諸高等学校出身)

1年次では医療事務技能審査試験、日商簿記検定、MOS検定に挑戦し合格することができました。これらの資格取得のために、授業と並行して勉強をしなければならず、辛いと感じる時期もありましたが、何とか目標を達成することができました。2年次も、情報関係の資格試験にチャレンジしていきます。

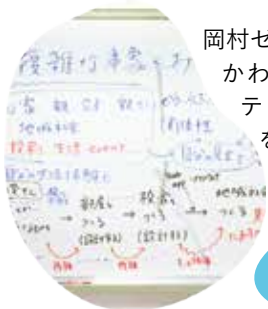
社会人としての基本的な知識・教養を固めるために、1年後期から2年前期にかけて「公務員講座」を受講しました。国語・英語・社会・数学など、幅広く勉強しています。問題の解き方のコツを先生から教えていただき、友達とペアで教え合いながら理解を深めるよう努めています。

これからも、多くのことにチャレンジし続け、成長していきたいと思っています。



複雑な事象をみる

基礎ゼミナールI(岡村ゼミ)



岡村ゼミでは、“ものやことのかかり合いをみる”ことをテーマに、様々な活動を行っています。

「私の朝の体験」を元に、私と周りのものごととの関わり合いを図に表してみました。



自分たちの体験から、物事の関わりあい・社会のあり方をみる



個人の体験から学んだ、物事を観察する一つの視点を片手に持ちながら、自分たちがプチ旅行を計画・実施しその物事の関わり合いをデザインしてみる活動を実践中です。



上田女子短期大学で新しくはじまりました!!

デザインの学び

デザインとは…

自分たちが
体・頭・心を動かして
“もの”や“こと”を
思い描き具体化して
人と社会に
とどけること

上田女子短期大学の「デザインする力を
デザインの学び」とともに身につける場



この体験から学生たちは
「擦る私・浮き上がらせる物」二つの要素が関わり合
一つの表現をつくり出す
というデザインの大切な
根っこ(原理)を見出した。

絵が上手でも下手でも、美術が好きでも嫌いでもOK!

“デザイン”と聞くと、“何かの形を上手に描くこと”を多くのひとが思い浮かべるのではないのでしょうか？実は“デザイン”とはもっと広いものなのです！

活動の例
共通教育科目

美術と文化

「美術は文化だ」これがこの授業の主張である。美術は文化ってなんだ？自分の体・心・頭を使って仲間と探していく場がここにある。

葉っぱの輪郭

「身近なものをフロッター*してみよう！」

いきなりはじまった創作活動。学生たちの頭上には「？」がはつきり見える。しかし、徐々に浮か

出てきた形・友達が擦った形に影響を受け、「それいいね」とどんどん表現の幅を広げていった。「絵が下手でも楽しい！だって、好きな色で擦るだけで描けるもん！」

*フロッタージュ：素材に紙を当て、上から画材で擦り素材の模様を浮かび上がらせる技法

いま社会が求める力!



レンガの外壁

学術研究所新設

学術研究所は、幼児教育学科附属の児童文化研究所と総合文化学科附属の総合文化研究所を統合して、2021年9月に設立されました。本学所属の教職員による研究や社会貢献事業を支援することを目的に掲げて、外部助成金獲得に向けた情報発信や学内研修の企画、また学術誌としての学術研究所『所報』の発刊等を担う組織です。今年度の所員は幼教と総文の教員それぞれ1名と事務局職員1名というコンパクトな体制ですが、少人数だからこその“小回り”を利かせて、日々活動しています。

今年の秋によやく一歳を迎えるというヨチヨチどころかハイハイで進む組織ですが、“乳児”の感性でもって、ひとつひとつの業務に新鮮な驚きと好奇心を抱いて挑んでいきたいと思ひます。

大学改革室

【長野県工科短期大学校との連携】

♥キャンパスツアー

長野県工科短期大学校とともに「中学生のためのキャンパスツアー」～未来のわたしをみつけよう～を開催しました。多くの中学生の皆さんが将来を考えるきっかけになりますように…!

♥イメージキャラクター

両校の特色を活かしたイメージキャラクターの作成に取り組み、無事に完成しました!

学生たちが試行錯誤をして作りあげてきた「うーたん」は今後様々なところで活躍予定です。お楽しみに!



上田女子短期大学
イメージキャラクター
「うーたん」



新任教職員紹介



幼児教育学科 教授
川島 良雄
担当科目:子ども家庭福祉他



准教授
柿本 悠
担当科目:ビジネスデザイン他



総合文化学科 講師
小山 泉
担当科目:英語Ⅰ・Ⅱ



総合文化学科 助教
岡村 綾華
担当科目:美術と文化他



総務課
上原 綾



入試広報課
富田 瑠莉

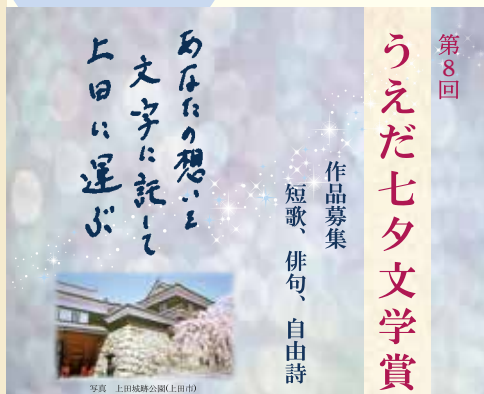
高大連携事業

第8回 うえだ七夕文学賞 (上田西高等学校と共催)

応募締切日 ▶ 9月7日(水)

【選者】

短歌 ▶ 東洋大学名誉教授 神田 重幸先生
俳句 ▶ 高浜虚子の孫、「玉藻」名誉主宰 星野 椿先生
自由詩 ▶ 上田女子短期大学・上田西高等学校 教員



● 募集要項は大学のホームページに掲載しています。
たくさんのご応募をお待ちしています。



前回の入賞作品 (一部抜粋です)

- ハンモックはくはゆるらナマケモノ (園児の部・自由詩)
- 別所線一年半ぶり走ったね 未来へ続け赤い鉄橋 (小学生の部・俳句)
- 君とまた、緑香花火をあの海で (中学生の部・短歌)
- 朝六時前髪くるんとまけたら まけないデートへスキップしてこ (高校生・大学生の部・俳句)
- ドロップスカランカランと音立てる 色とりどりの甘い宝石 (大学生の部・俳句)
- 子らの書く短冊の色々に どんなん願いも争わず揺れ (一般の部・短歌)

学生たちの 地域貢献活動

別所線ガイド

ボランティアチーム

開通した上田-城下間のガイド動画を公開。6月19日(日)より車内ガイドが再開しました。詳細は上田電鉄HPをご覧ください。



Instagram
OPEN
しました



ガイド
動画は
こちらから

うえだ乙女百人一首

別所線開業100周年のお祝いに15の駅の歌を詠んだポスターを贈呈。全車両に展示し、乗客の皆さんに楽しんでいただきました。



上田市長との懇談会

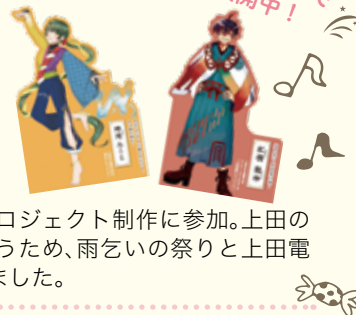
2019年の被災から2021年の別所線全線開通、そして今日に至るまでの活動報告と、別所線への思いを語る場に出席。たくさんの方の思いを上田市長へ伝えてきました。



擬人化キャラクター制作



アリオ上田の擬人化プロジェクト制作に参加。上田の良さを身近に感じてもらうため、雨乞いの祭りとお上田電鉄の化身をデビューさせました。



別所がある

「親子の特別な思い出の場所」という想いで、別所温泉街で子ども向けのイベントを開催。

地域貢献活動が評価され、昨年8月の『広報うえだ』の表紙にも選ばれました。今年は雨乞いの祭り『岳の幟』に参加予定です。



Instagram
運営中

公開講座

宮本隆治客員教授
コロナ禍における
コミュニケーション
スキル

日時 ▶ 9月16日(金)
時間未定。決まり次第HPでお知らせします。
会場 ▶ 上田女子短期大学 北野講堂
学生と一緒に受講します。

入場無料・要申込



芸術の森

北野講堂シリーズ2022

立川談慶独演会

(信州上田観光大使・上田市出身落語家)

日時 ▶ 11月26日(出)
開場13:30 開演14:00
会場 ▶ 上田女子短期大学
北野講堂

入場無料・要申込



図書館司書
原のぞみ



地域連携センター
堀内玉緒

後援会だより

会長ご挨拶



令和4年度 後援会 会長
龍野 正和

今年度、上田女子短期大学後援会の会長を務めさせていただきます、龍野正和と申します。1年間よろしくお願いいたします。

現在、人工知能の発達、自然災害や戦争の脅威、新型コロナウイルスの流行等により世の中の仕組みが大きく変わってきており、先の見通しが持ちづらい時代です。そんな中、大切になってくるのは「人間的資質」「発想力」「コミュニケーション能力」と言われています。また、答えのなかなか出ないものに粘り強く取り組む力、逆境に負けない力も大切になってくるでしょう。このような力を育むためにも、友と共に学ぶ上田女子短期大学での2年間は、かけがえのないものになることと思います。

子どもたちのために、学習面だけでなく、心身の健康をはじめ様々な面から支えてくださっている教職員の皆様に感謝しながら、子どもたちが充実した学生生活を送ることができるよう、後援会の活動を進めてまいりたいと思います。保護者の皆様の温かなご支援・ご協力を心よりお願い申し上げます。

令和4年度後援会総会・進路セミナー

令和4年6月4日(土)開催

6月4日(土)本学にて、総会および進路セミナーを開催しました。総会では事業報告、決算報告の他、新役員の皆様を紹介しました。

総会後は、進路セミナーとして、「保護者の皆さんに知っていただきたい「コロナ禍における現場が求める人材」と題し、一般企業より、小売業の採用・教育担当者と、児童発達支援センターの園長を講師にお招きし、ご講演いただきました。それぞれのお立場より、新任職員に求める人物像について、そして日頃からの家庭教育についてお話がありました。

セミナー後は、各教室に分かれてゼミ担任との懇談会を行いました。



CO₂濃度測定器 寄贈

感染症対策には、手洗い・消毒と共に換気が重要ですが、冬季中など寒い時期は、換気が不十分になりがちです。そこで、後援会では、各教室用に過密状況が表示される「CO₂濃度測定器」を12台寄贈しました。この測定器は、室内の二酸化炭素濃度を計測し、空気の状態を見える化して、換気するタイミングをアラームで知らせます。

コロナ禍においても学生たちが安心して学べる教育環境づくりを目指し、大学と連携して支援を継続していきます。

令和4年度 新潟支部総会 開催について

毎年恒例の新潟支部総会を下記のとおり行います。当日は後援会会長をはじめ、学長・教職員も参加し、学生生活・進路状況等についてご説明します。また、今年度も本学同窓会役員および同窓会新潟支部会役員も出席し、卒業後のサポート体制等をお伝えするとともに、「社会が求める人材」について、進路関係の講演を行う予定です。

新潟支部の会員以外で、出席を希望される方は、本学後援会事務局までご連絡をお願いいたします。

(申込締切:9月21日(水)) ☎ 0268-38-2352)

皆様のご参加をお待ちしています。

日時 令和4年10月22日(土)
午前開催(予定)

場所 高陽荘(上越市)
(高田駅から徒歩7分)
☎025-522-2930



新潟支部総会の様子

学校法人北野学園 上田女子短期大学 「創立50周年記念事業募金」について

本学は2023年に創立50周年を迎えます。1973年の開学以来、地域に根差した短期大学として着実にその歴史を積み上げ、1万人を超える卒業生を社会に輩出してまいりました。今後も地域に根差した高等教育機関として、広く社会に貢献することを使命に、教育活動に取り組んでまいります。

50周年に向けて令和3年6月より募集を開始しました「創立50周年記念事業募金」に、昨年度は後援会より30万円寄附しました。今後も、学生たちがより充実した環境で大学生活を送れるよう、会員皆様のご支援・ご理解の程よりしくお願い申し上げます。



父から娘へ



幼児教育学科2年
加藤 亜美/父・和之

保育士を目指したいと打ちあけられたのは高校三年生の春でした。私の誕生日にプレゼントに添えられた一通の手紙。驚きました。保育士を目指す想いと進学をしたいという内容のものでした。

この一年、コロナ禍であらゆる行動が制限されました。実習や行事が中止・延期になる中で限られた学生生活。もっと楽しめたはずだったのに…と誰もが思った事でしょう。

しかし、人生は楽しい事ばかりではありません。上田女子短期大学で学んだ経験がこれからの人生にきっと役立ちます。

亜美の夢を応援しています。いつも笑顔を忘れずに頑張れ(〜)

いま想いを語る



総合文化学科2年
中村 美咲/父・昭夫

娘が親元を離れて、一人暮らしの学生生活を始めて1年経ちました。コロナ禍もあり、授業や生活を心配しておりましたが、充実した学生生活を送っており、成長した姿を見て安心いたしました。

現在進路活動等で悩むことも多く大変な時期ですが、学生生活で学んだことに自信を持って取り組んでいてほしいと思います。

この経験が、社会に出てから自分自身の財産になると思います。

最後に残りの学生生活を楽しく充実した日々を送ってほしいと思います。

母校への入学



幼児教育学科1年
原 菜々美/母・理恵

私は本学幼児教育学科を卒業後、一般企業に就職しました。その後娘を出産、育児を経て資格を活かして保育士として新たに働き始め、今日に至っています。保育の仕事は現場で覚える事や教えられる事も多く、また子どもたちの成長を感じられるやりがいのある職業です。

その背中を見て、娘が上田女子短期大学に進学したと思えば、とても嬉しく思います。

私の頃より、施設も充実し、緑に囲まれた環境で学べる事はこれからの保育に活かしていけるのだと感じます。

この恵まれた上田女子短期大学で楽しく、今しか出来ない経験を沢山して、学生生活を送ってほしいです。

母から娘へ

総合文化学科1年
川久保 美紅/母・真由美

私は当時、国文科へ入学しました。現在では総合文化学科へと、学べるコースも内容も豊富で、また取得出来る免許や資格も多く驚きました。娘とオープンキャンパスに訪れた際には、充実した施設に感動しました。

短大生活は2年間と短い期間ですが、この恵まれた環境の中で娘にはたくさんの学びを吸収して、自分の可能性を見出してほしいと願います。そして同世代の仲間たちと今しか味わえない充実した学生生活を送ってほしいと思います。

姉から妹へ

総合文化学科1年
井出 鈴奈/姉・緒里

私は地方公務員を目指していたので様々な教養を身につけられることや地域活動が盛んであるところに魅力を感じ、上田女子短期大学の総合文化学科に入学をしました。

入学してから毎晩、私とその日の短大での出来事について話をしていたので、そのことが妹にとって上田女子短期大学に興味を持つきっかけの1つになったことは、嬉しかったです。

上田女子短期大学は緑豊かで、伸び伸びと学べる環境が整っています。妹には2年間という貴重な時間を、忙しくもありますが楽しんでほしいと思います。

短大生活を謳歌しつつ、図書館司書という将来の夢に向かって頑張ってください。応援しています。

同窓生優遇措置について

本学の卒業生、在学生の子女または姉妹で、推薦入学試験及び一般入学試験を受験して合格した方の入学に際しては、

入学金の半額(125,000円)を免除

します(R3年度実績10名)。ただし、総合型選抜(旧AO)・推薦特待生・SG特待生・資格特待生の合格者には、同窓生優遇措置は適用されません。

詳細は本学入試広報課までお問い合わせください。

実習について

幼児教育学科の学生は2年間で5回の実習を行います。

実習のスタートは附属幼稚園でのプレ実習！園で子どもたちと一緒に遊び、生活する中で様々なことを感じ、疑問点はその後の授業で確認して力にしています。附属幼稚園が隣接しているので、授業で出かけ、遊びの様子を目にしやすい環境です。

総合文化学科教職課程の学生は、1年次に介護等体験、2年次に中学校での教育実習を行います。事前に本番さながらの模擬授業を実施し、正規の実習に臨みます。

実習では「うまくやること」より、日々の振り返りから「次はどうしようか」と考え続けることが大切で、「うまくいかない=失敗」では決してないのです。教職員はその後の成長に活かせるよう全力でサポートしています。



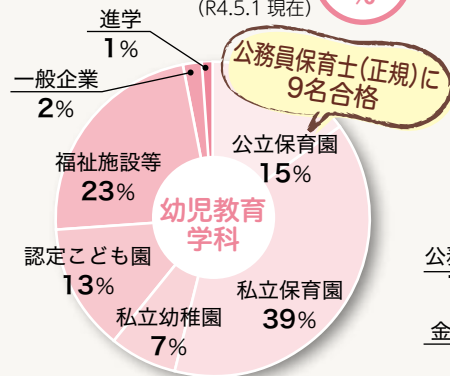
進路サポート室は、「笑顔で輝ける場所へ」をテーマに

進路サポート室より

夢に向かって頑張るあなたを応援します！

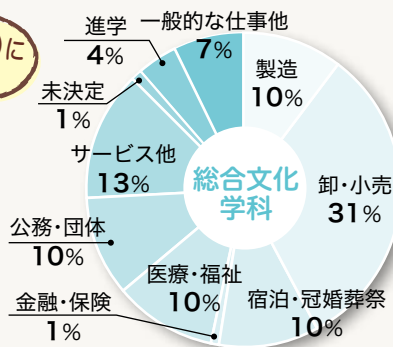
幼児教育学科

令和3年度就職率 **100%**
(R4.5.1現在)



総合文化学科

令和3年度就職率 **98%**
(R4.5.1現在)



資格NEWS

■幼児教育学科

本年度より、2年間の通常授業カリキュラムの学びの中で「准学校心理士」「自然体験活動指導者養成講習(NEALリーダー)資格」取得が可能となります。



【准学校心理士】

学校生活におけるさまざまな問題について、「学校心理学」の専門的知識と技能をもって、心理教育的援助をする教育相談員やスクールカウンセラーとして働く「学校心理士」を受験するための基礎資格です。保育専門科目で心理学関連の知識を学びます。

■総合文化学科

昨年度も多くの学生が資格に挑戦・合格し、30名45資格に報奨金が授与されました。また、パーソナルカリス



ト検定においては受験学生が成績優秀者として表彰されました。

パーソナルカリスト検定成績優秀者
2022年総合文化学科卒業
山下 彩佳さん

日々の積み重ねによりこのような結果が残せた実感しています。現在も様々な資格取得に向けて勉強していますが、検定で良い結果が取得できたことは、自信に繋がって活力となっています。

●令和3年度資格試験合格者

資格試験名	合格者数
MOS (Word,Excel,PowerPoint)	36
色彩検定 2級/ 3級	9
パーソナルカリスト検定	5
日商簿記検定 3級	3
秘書検定 2級	5
ピアヘルパー	6
ブライダルコーディネーター技能検定 3級	11
アソシエイトブライダルコーディネーター認定試験	14
医療事務技能審査試験	8

公務員保育士合同説明会



12月16日(土)に公務員保育士合同説明会を開催しました。学生が関心を寄せる5自治体が来てくださり、全体説明会とその後の個別説明会で各自治体の保育環境などを詳しく聴くことができました。また、試験の日程や内容を知ること、今まで曖昧だった気持ちを引き締める場となりました。

内定者フォローアップセミナー



2月8日(火)に内定者フォローアップセミナーを開催しました。感染拡大のため両学科ともオンラインでの開催となりましたが、社会人としての心構えを再確認する場になったと思います。専門職については現場で働く先生方にもご参加いただき、「社会人として羽ばたくための勇気と自信」を与えていただきました。一般職については社会人になることへの不安を少しでも解消することができるよう教職員よりエールを送りました。

編集後記

あるイタリアのチョコレートの包装紙。内側には有名なフレーズや格言が書かれた紙片が入っていて(言語は4か国語)、これを見るのが食べる前の楽しみでもあります。この通信の編集を始めてから作家オスカー・ワイルドの言葉を見つけました。A friend is someone that knows you well and continues to spend time with you. 和訳は「友人とは、あなたをよく知り、あなたと一緒に時間を過ごし続ける人のこと」です。上田女子短期大学で過ごす時間は、まさに友人=A friendに出会える貴重な期間でもあります。その友人はこれから先、あなたが幸せな時も辛い時もあなたを気にかけてくれる大切な人です。皆さんがそんな一生の友人を見つける事ができる2年間であるよう、心から祈ってこの言葉を贈ります。①



学校法人 北野学園
上田女子短期大学
幼児教育学科 / 総合文化学科

〒986-1214 長野県上田市下之郷乙620
TEL0268-38-2352(内)
FAX0268-38-7315
E-mail info@uedawjc.ac.jp



Instagram



←上田女子短期大学通信のバックナンバーはこちら

ホームページ <http://www.uedawjc.ac.jp>